

合格者の声

これから受講をされる方への参考に、第25期のベストコントロール技術者養成講座1級コースに合格し、当協会のベストコントロール1級技術者の認証を受けられた3名の方より「合格者の声」をお寄せいただきました。

ベストコントロール技術者養成講座1級コース合格
ベストコントロール1級技術者認証
セントラルトリニティ株式会社 谷村 祐助 さん

技術者認証票の提示により、
お客様にご納得いただきました

私は、社内での受講希望者の募集に応募し、本講座を受講する機会をいただき、無事1級コースを修了することができました。

学習内容は、幅広くPCOに関わる様々なことが含まれていて、実務や知識だけでなく管理者心得や経営総論など違った視点からも業務を考えることの重要性を認識することができました。

添削問題は、休日前の夜などにまとめてやるが多かったのですが、思った以上に時間がかかり、たいてい夜遅くまでかかってやっていました。また、テキストを読んだだけでは、解答の記述がまとめられず、インターネットを検索したり、上司に質問したりと結構苦戦しました。字数制限のある記述問題では、パソコンの文書ソフトを使って、解答の文章を考えたりもしました。

本講座に合格して良かったことは、お客様より、教育を受けた人間が業務に携わっているという証明書の提出を求められた際に、1級技術者の認証票を提出することで納得いただけたことです。

今後は、本講座で学んだことを基にして、自己の技術力や管理能力の向上に努めて業務に従事していきたいと思います。

ベストコントロール技術者養成講座1級コース合格
ベストコントロール1級技術者認証
関東薬品消毒株式会社 布施 曜子 さん

知識や技術に対する自信・顧客への安心感・
顧客からの信頼につながりました

私は、ベストコントロール作業従事者として3年間仕事をし、実務や防除作業従事者研修会などを通してPCOの知識、技術を学んできました。しかし、近年の社会を取り巻く環境の変化やPCOに対する社会の要求に応えるため、更なる専門的な知識、技術力向上の必要性を感じ、第25期ベストコントロール技術者養成講座1級を受講しました。

ベストコントロール技術者養成講座1級は、作業従事者としてだけでなく、PCO技術管理者として、必要とされる広範な基礎知識と高度な技術力を養成するとともに、管理能力を養成することを目的とするコースで、8ヶ月間かけてテキストに沿って勉強し、最後にスクーリングと総合レポートがあります。

添削問題はテキストから主に出題されます。テキストは単元が細かく分かれていて、毎日少しずつ読んでいけば仕事をしながらでも無理なく勉強できるようになっています。スクーリングは2日間の日程で、昆虫の同定やダニの分離、殺虫試験の実技を行います。スクーリングでは講師の方が丁寧に指導してくれるので、わかりやすくとても役に立ちました。

一番大変だったのは最後の総合レポートです。提出が仕事の忙しい時期と重なるので、最後にまとめてやるのではなく計画的に進めておく必要があります。総合レポートは普段の実務を有効に利用し、論文としてまとめると、その後の実務でも応用できるので良いと思います。

これから益々、PCO業務に関して、環境、社会の要求は厳しくなっていくと思います。特にサービスにおいて専門性を求める顧客に対し、ベストコントロール技術者という資格をもつことで、自分の知識や技術に対する自信や、顧客に与える安心感、信頼等につながっていくものだと、今回ベストコントロール技術者養成講座に合格し改めて実感しました。この講座を通して学んだことを生かし、これからもベストコントロール作業従事者として社会や地域に貢献していきたいと思います。

ペストコントロール技術者養成講座1級コース合格
ペストコントロール1級技術者認証
株式会社フレックス 前川 圭 さん

体系的な PCO の知識の学習により、業務における技術的・知識的な裏づけが固められました

PCO業者の悩みとして、世間一般の認知度や信用度の低さというものがあると思います。それらが営業及び業務を行う上で障害となることは少なくありません。そんな中で、国家資格ではないものの、技術的な信用を裏付けるものの一つとして少しでもプラスになればという思いで受講しました。

学習のメインは月2回提出の課題ですが、これがなかなか大変でした。日々少しずつやる分には決して多くはなく、業務の合間や就業後に出来るレベルです。(実際にそういう設定をされているのでしょうか。)ただし、実際には日々の業務に追われて、もしくはそれを言い訳に、締め切り直前に慌ててこなすということが殆どでした。そんなサイクルに嵌ってしまうと、課題を提出したかと思ったら、すぐにまた次の提出期限が迫っているということになり、ただ課題をこなしているだけの状態でした。

具体的な中身については、テキストのみだと幾分わかり辛い箇所もあるので、防除作業監督者等のテキストを併用すると効率が良くなると思います。スクーリングで講師の方も仰っていましたが、インターネットを多用するのは危険だと思います。情報の信用度という点で、既存の実績ある書物を利用されるのがいいと思います。

いずれにせよ、それなりの費用をかけて受講しているので、何があっても合格しなければならないと自分にプレッシャーをかけて頑張るだけだと思います。

ペストコントロール技術者として認証いただいたことが、実務において明確なプラスとなった、ということは残念ながらもまだありません。もちろんまだ期間が短いということもありますし、この認証をどう活用していくかは今後の課題として工夫しなければならないと思います。業界として協力してより意味のあるものにしていく努力も必要でしょう。

ただし、現在最も役立っているということは、改めて体系的にPCOの一連の知識を学習できたことで、各業務における技術的・知識的な裏づけが固められたことでしょう。日々の業務で経験していることが何よりも大きな財産となり武器となるのは間違いありませんが、そこで偏りがちな視野を広く持つことで、PCO事業者としてレベルアップし、あるいは新たなビジネスチャンスを見逃さず掴むための大きな力となると信じています。

最後に、この講座を受講される方は、どんな形でも最後まで是非やり遂げて下さい。受講費用がかかっているのはもちろんありますが、半年間継続して勉強するだけでも価値はあると思います。その上で何かプラスになることがあれば言うことないのではないのでしょうか。